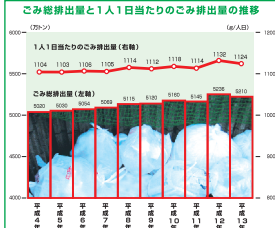


家庭用生ごみ処理機

1 生ごみ処理機はどのようなもの？

生ごみは、家庭から排出される可燃ごみの半分を占めると言われており、一般ごみの年間排出量の約3割以上を生ごみが占めているとも言われています。

日本電機工業会は、生ごみの減量化に向け「家庭用電気生ごみ処理機」の開発を進め、自宅で土壌還元できることや、ごみの減量化に役立つなど、地球環境保全に貢献しています。



2 生ごみ処理機の種類と構造

家庭用電気生ごみ処理機の代表的な処理方式としては「バイオ式、乾燥式」があります。最近では、送風乾燥と微生物を利用した分解処理のハイブリット式も発売しています。

バイオ式

微生物を利用して生ごみを分解し、減量・減容する方式。基材と生ごみを混ぜて微生物の働きで生ごみを水と固形物に分解。約1/10に減容させる。



乾燥式

電気を利用して生ごみを乾燥し減量・減容するヒーター等の熱源で生ごみの水分を物蒸発させて乾燥し減量・減容させる。約1/7に減容させる。



「東電電力」暮らしのラボ ホームページ「ごみとの家環境づくり」より

3 生ごみ処理機使用の効果

1 ごみの減量化とごみ出しの負担の軽減

ごみの減量化により、ごみ出し袋が軽くなり、回数も減り、運搬時の汁だれもなくなります。



2 生ごみのニオイがなくなり、キッチンが清潔・衛生的

- ・キッチンの生ごみの悪臭への対策。家中に漂う生ごみのニオイがなくなります。
- ・生ごみの置き場所に困らず、キッチンシンクのめりめりや三角コーナーが汚れにくくいつも清潔です。



3 有機肥料素材としてリサイクル

- ・減量した処理物は有機肥料素材として利用でき、捨てた生ごみが「資源」に変わります。
- ・フチ園芸などで使用することにより、個々の環境への関心を深め啓発できます。



※処理物を有機肥料に利用しない機種もあります。

4 ごみ収集所の衛生面と自治体のごみ処理量の削減への貢献

- ・悪臭が軽減でき、カラス、犬、猫などが寄り付きにくくなるので、より衛生的です。
- ・生ごみ処理機が、10%普及するとお住まいの自治体のごみ処理量が2%削減します。



4 全国自治体助成金について

多くの自治体では、生ごみ処理機への助成制度があります。

(社)日本電機工業会ホームページには全国自治体への調査結果が掲載されています。

現在では、全自治体の約65%¹⁾で助成制度を採用しています。

ご利用にあたっては、お住まいの自治体にお問い合わせされることをお勧め致します。



※1助成金調査結果は、平成16年4月の調査によるものです。

(社)日本電機工業会ホームページ

URL : <http://www.jema-net.or.jp/Japanese/kaden/gomi01.htm>